

☺ カウンセラー便り No.3 ☺

令和7年7月25日

スクールカウンセラー ユン ジソン

題目：夏はオトナへの入口！

アンニョンハセヨ、スクールカウンセラーのゆんです。うだるような暑さで、ゆんさんは、タンドリーチキンにでもなりそうです。暑い夏には、辛いインドカレーとマンゴーラッシャーが超オススメです。

さて、もう学校は夏休みとなりましたね。映画「鬼滅の刃～無限城編～」も公開されたり、夏は楽しみがいっぱいといったところでしょうか。ただ、最近の日本の子ども達にとっての夏休みは決して「楽しくてしかたない！」とは言い難い状況が続いているみたいです。その根拠としては、少し暗い話になりますが警察庁の統計によると、令和6年度中に自ら命を落として児童生徒の人数(小中高)は529人と過去最高を記録したみたいです。しかも、一年の中で、夏休みから二学期始まりにかけてもっともその人数が増えるみたいで、「こころもからだもつらい夏休み」の現状が浮き彫りになっているみたいです。アツさが原因か、コドクが原因か、理由はよくわかっておりません。

一般的に「夏」は、こころの成長面からすると、非日常的な体験を通じて良くも悪くもハメを外すことで、オトナになる時期、と言われております。ただ、オトナになるってことはつまり、「コドモじゃなくなる」ってことだから、それはそれで、「なにかを失う」という傷つきを伴うものかもしれませんね。オトナになるってことは、筋肉ムキムキの「獲得」だけのイメージではなく、実は「失うこと」を受け入れることだったりもします。そう考えると、竈門炭治郎も大切な人を失った経験から、「立志」しましたね。

つらい夏休み！その「なにかを失うこと」を目の前にして、こども達もいろんな気持ちになるのかなと思ったりもします。

さて、そんな夏休みですが、少しでも前向きに過ごしていくためには何が必要なんでしょうね。

スクールカウンセラーから言えることは、

- ① 動:とにかく、動くこと
- ② 話:とにかく、だれかと話すこと
- ③ 聞:いろんな人の話をきくこと

かなと。

夏休み、クーラーの効いた部屋でひとりであるより、大きなことでなくてもいいのでなにか「動」いてみたり、家族でも友達でも学校の先生、近所の人、だれでもいいのでちょっとでも「話」をしてみたり、普段あまり接点のない人からいろんな話を「聞」いてみたりして、過ごしてみることをお勧めします。そうすると、かならず、「友」に出会えると思います。

夏に出会えた「友」は人生の宝となり、その「友」の存在が「目の前の喪失」を乗り越えられる力になるのではないかと思ったりもします。

かくいう竈門炭治郎も無限城まで頑張れたのは「友」の存在があつてこそ。

スクールカウンセラーのゆんさんも、そんな「友」のひとりでありたいと思っております。何か相談ごとがありましたら、夏休みでも相談ができますので、遠慮なく学校のほうにご連絡くださいませ。保護者の相談も可能です。

=====

・7月29日(火曜日)午前中

・8月5日(火曜日)午前中

・8月19日(火曜日)午前中

=====

ご予約の方法は、

- ・担任教諭もしくは椿山(つばきやま)までご連絡ください(*どなたでも構いません)。
- ・詳しい内容は言わなくもOK
- ・生徒・保護者、どなたでも利用できます。
- ・オンラインもしくは電話での相談も可能です